

本郷路(ほんきょうろ)とは、人類すべてが本心から慕い求める故郷である理想世界=地上天国を実現するための道路という意味です。

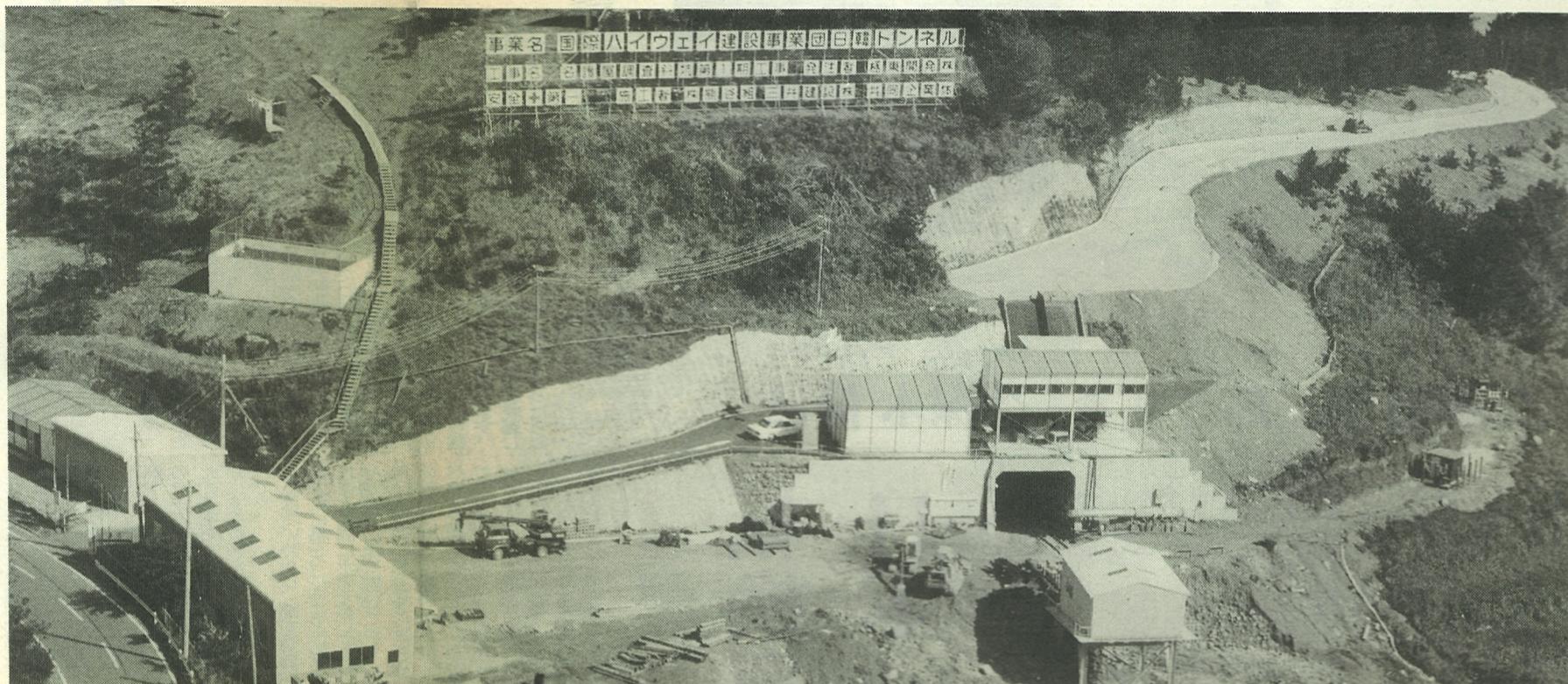
題字は文鮮明師

# 本 邦 国 際 高 速 道

1月号 January 1987 VOL.25

発行日／昭和62年1月1日(毎月1日発行)  
定 價／200円、年間3000円(送料込)  
発行所／(C)国際ハイウェイ建設事業団  
〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-12  
新大宗ビル3号館4階 ☎03(496)-2862  
郵便振替・東京4-150968(本郷路編集部)

# 国際ハイウェイ実現へ大きな飛躍



田舎トノネル調査糞坊は十月から本格的な撮影が開始された（スカイホーフ）より撮影



## 提唱者のことば

## 天運を受けつぐ

國際文化財團創設者 文鮮明師

してきました。そして神は、時代的環境を連結して基盤を拡大するために数多くの宗教をつくりたのです。

神のみ貞、立場から見る時、「アジアの情勢はこのように回らなければならぬ」というように、その方向性はすでに決定されています。それを人間は知らないがゆえに「天運」と呼ん

受けけるためには、世界の運勢を  
越えていくことのできる国民性  
を持たなければなりません。そ  
ういう点から見まして私達に  
は思想が必要となつてるので  
す。

では思想とは一体何でしょ  
うか。それは個人が行く道であつ  
ても、家庭に行く道であつても  
お互いがぶつかるものではあり  
ません。個人の道が家庭の行く  
道といつも平行であり、家庭的  
目的が国家という輪と平行して  
達成され、その勝利の実績と連  
なって国家は発展するようにな  
る。◆

文鮮明師のハイウェイ提唱から五年が経過して、八六年はトネル掘削の開始と日韓両国協力体制の確立など、今後のハイウェイ建設を進めてゆく上で

発足。日韓が協力して国際ハイウェイ建設に取り組むことになった。

を集めて整音会を開き、大きな反響をもたらした。  
こうした日本でのトーネル建設活動を受け、韓国では十月二十八日、国際ハイウェイ研究会がソウルで発足。その翌二

岐をはじめて本格的な掘削工事が開始されたのである。  
こうして現地での調査工事が順調に進められる一方、日韓トンネル研究会は、東京と福岡で総会を開き、一年間の活動状況と研究成果の報告を行った。また同研究会は、佐賀市、壹岐、五年期

超高層ビルに代表される建築の分野から、トンネル・ダムに代表される土木の分野、またハイテク関係の先端技術分野まで……あらゆる「建設、を通して、熊谷組はより豊かな社会のために努力を重ねます。



# 熊 谷 組

福岡支店長：石田二郎

福岡支店：〒810 福岡市中央区古小島町81 ☎092-521-1401

新春対談

# 国際ハイウェイ構想



(社)日本工業技術振興協会会長

国際ハイウェイ建設事業団会長

西堀 栄三郎

対談

久保木 修己

人事を尽くして天命を待つ

司会 本日のテーマは「国際ハイウェイ構想は、文鮮明先生が韓国で開かれた国際科学委員会の席上で発表されたものですが、基本的な考え方としては世界が一つになり、人類が理解社が一つになり、人類が理解社が一つになり、人類が理解社が一つになり、人類が理解社が一つになり、人類が理解社が一つになり、人類が理解社が一つになり、人類が理解社が一つになり、人類が理解社が一つになり、人類が理解社が一つになり、人類が理解社が一つになり、人類が理解社が一つになり、人類が理解社が一つなり、

八年は十月に日韓トンネル調査坑の起工式が行われるなど、国際ハイウェイ建設にとって大きな飛躍の年であった。そこで新年を迎えて、第十一回ICUSに出席して文鮮明先生から直接ハイウェイ構想を聞き、意欲的にこのプロジェクトを推進してこられた西堀栄三郎氏と、ハイウェイ建設の推進母体である国際ハイウェイ建設事業団の久保木修己会長に、「国際ハイウェイとアジアの夢」をテーマに語り合つてもらった。

司会=山岡建雄 国際ハイウェイ建設事業団副理事長

エイについてのお考を特にアジアに焦点をあてて、未来に対する夢を語り合つて頂きたいと思います。そこで両先生に、国際ハイウェイについてのお考を特にアジアに焦点をあてて、未来に対する夢を語り合つて頂きたいと思います。心のうちを聞かせて頂ければ幸いです。

西堀 私としては、文先生に

久保木 私が西堀先生に一番

久保木 私が西

新春対談

# 人類の未来をひらく

西堀 そうですね。文先生は非常にいいタイミングを御存知だったようですね。

以前から文先生がキリスト教

統一のことをおっしゃってい

ますが、非常に困難な問題だが

いつかなきなればならない

といつておっしゃると思います。

西堀 はい、国境といふ

もの意味が今は違ってくる

に違いない。その考えると経

済問題にしても今は形態が変

わっているに違ないかもしれません。

久保木 先生のおっしゃるとおりです。また人間というものを考えると、私という個人と公

に近くすという公私との側面があらわれます。そのどちらを優先するかによって、善とが悪

とかの方向が出てくると思わざ

るを得ないわけです。だからア

ジア共同体にして何にしろ、世

界の為にといつこりであります。

西堀 南極といふことは國

境も何もないんです。使いたい

場所は自由に使えます。しかし

使うのをやめないと、それが

の権利は失います。

それから、軍事的には一切

使ってはならないが、使ってい

る他の方々に迷惑にならない限

り何をして構わない、そうな

っています。ところが、そいつ

いろいろな条約が間もなく切れ

てくるわけです。その時にどう

書き替えられるかということ

が大変な問題です。

日本は世界の  
発展に貢献を

## 人類共有の財産になる

西堀

## 経済的恩恵、世界の為に

久保木

拡大が問題

人間の意識

西堀

歴史をみても、宗教家

が集めた金で歴史に残る寺を建

てています。だからトンネル

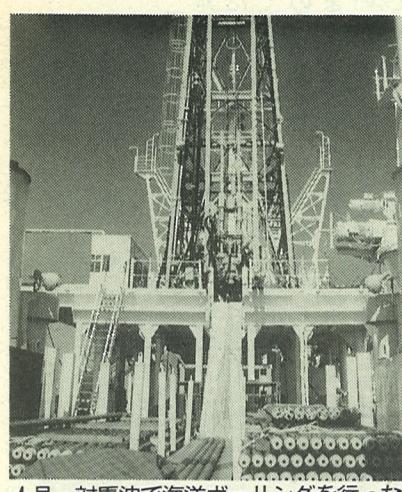
たいと考えています。

西堀</p

国際ハイウェイ  
事務所報告

# 活発な日韓トンネル調査活動

## 唐津事務所



4月、対馬沖で海洋ボーリングを行った



十月一日 調査斜坑の起工式が盛大に開かれた

## 対馬事務所

韓国に最も近い島・対馬。

国境の島として古代から現代に至るまで、日韓両国の間で重要な役割を果たしている。また対馬北部の上対馬町展望台からは、韓半島を眺めることも出来る。

対馬事務所は、日韓トンネル建設の最前線として八年来に開設。以後三年半、陸海域にわたりて広範囲な調査活動

## 海底下にボーリング 陸海域の地質明らかに

## 海底下にボーリング 陸海域の地質明らかに

去年一年間の活動の中からいきつたが、その中にトンネルが通せるか否かについては未知の状態でした。

そこで海底下の岩石を直接採取してその可能性を確かめるため、昨年四月、対馬西海域で海洋ボーリングを実施しました。調査地点は対馬沿岸から西へ十キロ、水深五百五十メートルを掘り上げました。現在採取したコアの詳しい検査が近い将来、対馬でも調査トunnelが掘削出来るようになります。

年はそういういた地元の期待に応えてゆきたいと考えています。

十月には佐賀県鎮西町で調査斜坑の起工式が行われました。

かがえました。本当に期待の大きさがうるるに対する地元の期待に応えてゆきたい」と思いました。本

りましたが、その中にトンネルが通せるか否かについては未知の状態でした。

そこで海底下の岩石を直接採取してその可能性を確かめるため、昨年四月、対馬西海域で海洋ボーリングを実施しました。調査地点は対馬沿岸から西へ十キロ、水深五百五十メートルを掘り上げました。現在採取したコアの詳しい検査が近い将来、対馬でも調査トunnelが掘削出来るようになります。

年はそういういた地元の期待に応えてゆきたいと思いま

す。

年はそういういた地元の期待に応えてゆきたいと思いま